

市内中学生熱中症事故調査委員会

第8回 議事録

日 時 平成29年3月30日（木）19：00～

場 所 生駒市役所403会議室

出席者：委員 4名（笠次委員長、井上委員、川真田委員、清原委員）欠席：武山委員
事務局 5名（峯島部長、真銅次長、辻中課長、吉川課長、城野課長補佐、
前田指導主事）

1. 案件

（1）報告書について

委員：まず資料1の議事録について内容を確認願う。

全員：特になし。

委員：次に資料2の報告書について確認を行う。それぞれの意見を色分けしてある。

事務局からの提案事項が添付されているが、委員会の方で確認を行ってからこの提案事項について考えていきたいがよろしいか。

委員：異議なし。

委員：大枠について、1～6という流れになっている。4のところでは委員会が判断した部分が入っていた。その部分を課題の整理の方へ移動した。また、その時の状況がわかるよう加筆させてもらった。保護者会の中で出た意見では、学校側の対応の不備をあげるものも見られたが、現場での応急処置の報告を見れば、あまり学校を責めることはできないのではないかと。5の課題については事前、渦中、事後の時系列に整理した。大枠はこのような感じ。委員からコメントいただきたいのは、7か所。

委員：一つ目、4ページ上。個人情報記載の妥当性はどうか。

委員：公開するのであれば、載せない方がいい。

委員：削除させていただく。

委員：2つ目、5ページの練習内容について、表現の仕方はこれでいいのか。

委員：読んでいて違和感なし。

委員：3つ目。5ページ下の黄色のところ、朝のランニングについて⑤事故当日の練習状況についての箇所に移動させたい。

委員：4つ目。④事故当日の練習環境について、気温湿度の記載のところ、いつどこで測

定されたものか。

事務局：これは消防の方で記録されていたもの。

委員：消防が許可するのであれば、載せたいがどうか。

事務局：数値を出すのはいいが、その時間は確定ができるかどうかわからない。

委員：学校では、気温湿度を測っていなかったのに、なぜ数値が挙がっているのかを説明できるようにしてほしい。

事務局：消防の方に確認する。

委員：5つ目。6ページ真ん中のところ。1周走る時間の確認願う。

事務局：教師の聞き取りからは、2分40～50秒でほかの部員は走っていたと聞いている。

委員：何周走っているか。

委員：12～13周になる。分速がわかるようにしたい。概算すれば分速156～166m/分で走っていた。本人は4～5周遅れで走っていたとのことなので、4周遅れなら105～115m/分で、5周遅れなら93～103m/分で走っていた。

委員：そのように書かせてもらってまとめる。

委員：AEDを記載したのは、保護者の方からなぜAEDを使わなかったのかという意見が出ていたので書いた。

委員：他に委員からの意見はないか。

委員：3ページ。家庭訪問は書かなくてもいい。

委員：教育的配慮を入れたいという趣旨で記載した。

委員：そういうことであれば任せる。

事務局：スクールカウンセラーも関わっていたことを入れたい。

委員：そこまで書くと入れすぎになる。

委員：入れてみて考える。

委員：事務局から意見はないか。

事務局：1ページの「調査」については「詳細調査」としたい。国の指針にあるので。基本調査に対するものであり、詳細調査としたい。

委員：国の指針にあるのならいい。

事務局：「国の指針による詳細調査」にする。

全員：異議なし。

事務局：3(1)を「事故当日の状況」とし、(2)を削除。後の4(1)⑤事故当日の練習状況及び⑥現場での応急措置について、で同様の内容が記載されており、重複するため。⑦搬送後の状況について、を追加する。

事務局：本人のことに関する記述についてご遺族の確認をとりたい。

委員：減量という言葉は入れたい。

事務局：後ろに反映していないので、入れるのならば、後ろに反映させた文を入れたい。

事務局：ご遺族に聞いてからにしたい。

事務局：救急車を呼ぶタイミングの表現について。

委員：「現在、一般的に学校現場で行われている方法としては概ね適切であったと考えら

れる。もっとも、さらに効果的な方法を使用できる可能性があったと考えられる」さらに、提言で加えていく。救急車を呼ぶタイミングについては、概ね適切であったと言えるのではないか。

事務局：⑨について、「不適切ではないと考えられる」でどうか。

全 員：異議なし。

事務局：「取組」の表記について、動詞の場合は「取り組む」、名詞の場合は「取組」という表記で統一してよいか。

全 員：異議なし。

委 員：人数が少ない教員での判断について、痙攣していたら小学校なら救急車を呼ぶと思うが、躊躇するような知識が入ればまた迷う。救急車を呼ぶタイミングはできるだけ早い方がいいのではないか。

事務局：今回の大瀬中の対応については、これでよしとし、今後の課題として、マニュアルの活用を強化するということではどうか。

委 員：遅すぎるということはないが、1分2分でも早くしてほしい。

委 員：嘔吐の後の応答について書かれていない。

委 員：9時15分、本人は「手足が痙攣して」とあるものの、教師の問いかけに対して「はい」と答えているので、救急車を呼ぶ判断としては難しい。

委 員：他にないか。

全 員：特になし。

(2) 今後の予定について

事務局：次回4月11日（火）を最終にして答申をいただきたい。

2. その他

・次回会議の日程

4月11日（火） 午後7時から 生駒市役所401会議室